

高専生のためのテクニカルイングリッシュセミナー inバンクーバー2019 レポート

研修先：University of British Columbia, Vancouver Honda
Vancouver Honda
期間：2019/8/17～2019/9/16

電子工学専攻 2年 吉川直希（新居浜高専）

概要

- ・グローバルエンジニアとしての英語による会議、英語による国際学会等で必要なプレゼンテーション資料作成。さらに高等発表および質疑応答のためのスキルを身につけることを目的とする。
- ・約二週間のインターンシップを通じ、コミュニケーション能力を養うとともに、海外のエンジニアのあり方を学ぶ。

ホームステイ

ホームステイ先には私以外にも二人の留学生が住んでおり、夕食を共にするためすぐに仲良くなることができた。

ボキャブラリーの少なさや、伝えたいことが伝えられないもどかしさに悔しい思いをした。今後の学習に繋がるよい経験ができた。



学習・活動内容

タイムスケジュール

5:30	6:00起床・身支度
6:00	7:30ジムで運動
7:30	9:00通学
9:00	12:00講義
12:00	12:30昼食
12:30	15:30講義
15:30	17:30翌日の課題
17:30	20:00ダウンタウンにて食事、買い物
20:00	21:00帰宅
21:00	21:30入浴
21:30	22:30ステイ先の留学生と散歩
23:00	5:30睡眠

活動

- ・UBCにてポスター作成スキル、パワーポイント作成スキル、Q/Aセッションについての講義
- ・現地企業でのインターンシップと見学
- ・テクニカルイングリッシュセミナー
- ・ホームステイでの共同生活および文化交流

休日



休日の過ごし方

交通は主に電車、バスを使用する。電車、バスともにICカードが使える、路線は日本ほど複雑ではない。

従ってダウンタウンや観光地までは簡単に行くことができる。

食事やショッピング、アクティビティなど現地の文化を楽しむことができた。



研修を振り返って

今回の研修で日本語と同様、英語も喋り方一つで印象やニュアンスが変わってくるとのことだ。普段の話しぶりに変化をつけることは難しいが、プレゼンの数十分間であれば練習を重ねることで英語でも可能である。国際学会の疑似体験を通して伝え方、伝わり方について学ぶことができた。

今後の自分

就職が決定している私にとってインターンシップは今後のエンジニアとしての在り方を再考できる良い経験となった。グローバル化が進む今の時代を肌で感じることで、海外事業に対する興味を抱くきっかけとなった。企業で務めていく中で海外事業に携わる機会があれば積極的に関わっていきたい。